

2022年3月15日

シニア向け分譲マンションで骨の強度測定と 骨折予防啓発を実施 約4割が要受診、内26%が医療機関へ受診 早期発見・早期治療開始に貢献

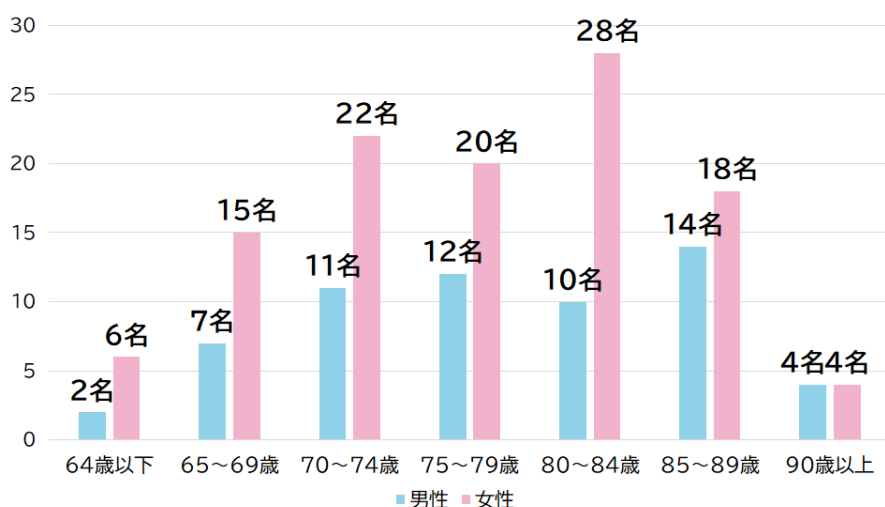
革新的なヘルスケアサービスをプロデュースして健康的な社会づくりに貢献することをミッションとするケアプロ株式会社（以下ケアプロ）では、アムジェン株式会社、株式会社フージャースケアデザイン、公益財団法人 骨粗鬆症財団、ロコモ チャレンジ！推進協議会と連携し、シニア向け分譲マンションのご入居者様を対象とした骨粗鬆症予防啓発活動を実施しました。（事前のプレスリリースにつきましては[こちら](#)をご覧ください。）実施後のデータのまとめを報告します。

▼実施報告

9月14日・28日「デュオセーヌ国立」、9月21日・24日「デュオセーヌ千葉ちはら台駅前」にて、ケアプロ看護師が、QUS法での強度測定・FRAX®による骨折リスク評価と骨粗鬆症やロコモディブシンドロームに関する教育資料の配布を4日間で合計172名の方に行いました。

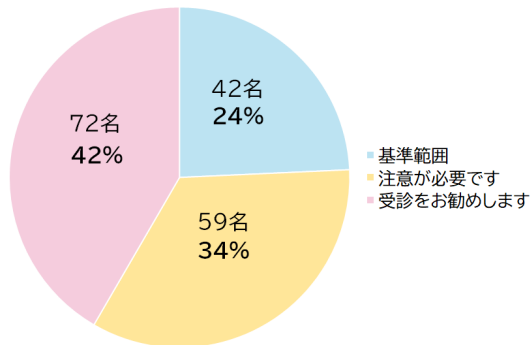
<参加者の属性>

80代女性を中心にご利用いただきました。



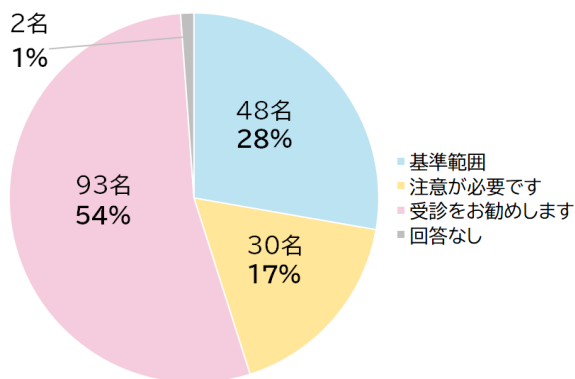
<測定結果>

・ QUS法での骨の測定
42%の方で、Stiffness値に基づき、受診をお勧めする結果となりました。



・ FRAX[®]による骨折リスク評価

54%の方で、主要な骨粗鬆症性骨折の10年リスク確率に基づき、受診をお勧めする結果となりました。

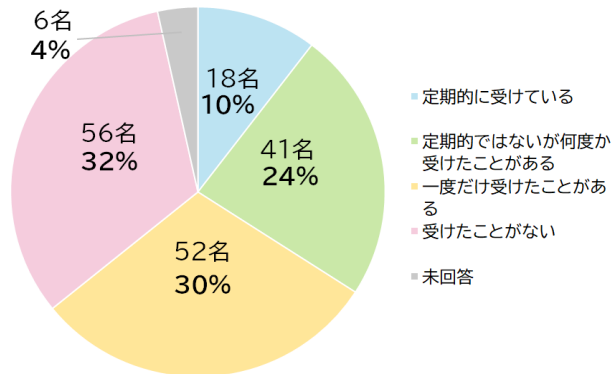


<骨折経験の有無>

FRAX[®]による骨折リスク評価が「受診をお勧めします」の評価となった93名のうち、50%の方に骨折の既往がありました。

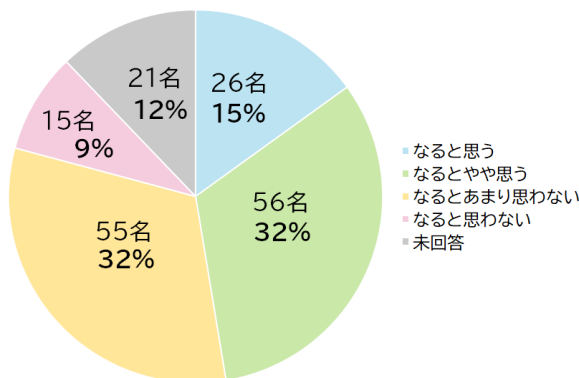
<過去の骨の健康に健康に関するの測定の経験有無>

32%の方がこれまで骨量測定等の経験がないと回答しました。



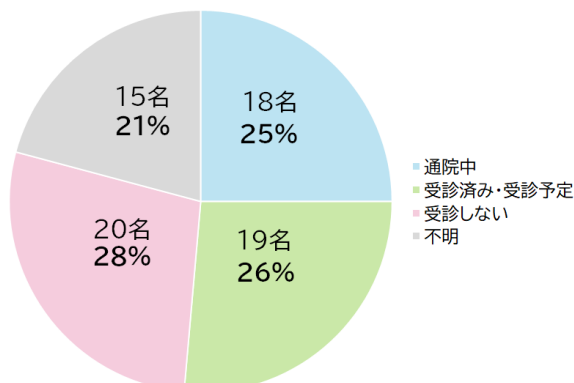
<ご自身が「骨粗鬆症」になるとおもいますか？>

41%の方が「骨粗鬆症になるとあまり思わない・思わない」と回答しました。



<骨粗鬆症検診受診の有無>

骨の強度測定で「受診をお勧めします」の結果となった72名の内、19名が近隣の整形外科に受診済みまたは受診予定とのことでした。



<医療機関を受診した方の声>

70代男性

「腰と股関節でレントゲンを撮りましたが、先生には大丈夫だと言われました。週1回リハビリで通院しているので、今後も何かあったらまた先生に相談したいと思います」

70代女性

「かかりつけ医で大腿骨、腰椎で骨密度を測定し、レントゲンも撮りました。踵で測るより値は良かったです。半年後に改めて骨密度測定で受診予定です」

80代女性

「FRAX[®]が30%くらいで驚いて受診しました。背中から腰でレントゲンを撮りましたが、踵と違ってこちらはYAM88%、AGE127%と、いい結果で安心しました」

<医療機関を受診しなかった方の声>

80代男性

「普段からカルシウムのサプリメントを飲んでいるし、周囲で通院していた人たちからあまり効果が無かったと聞いたので、しばらくは受診する予定はないです」

70代女性

「日常生活の中で困っていないし、自覚症状が無いので、しばらくは病院に行かないと思います」

80代女性

「娘にも相談したのですが、年齢的なものだし、ある程度は仕方ないと言われました。日常生活で転んだりつまずいたりは無いらしいし、毎日運動もしているので大丈夫だと思っています。また何か不安なことができれば受診します」

80代女性

「コロナもあるし、糖尿病など他の病気もたくさん持っているので、整形外科には行くつもりはあまりありません。普段から食事や運動にも気を付けているので、日常生活の中でどうにかします」

▼総評と今後について

従来の疾患啓発活動では成果をデータとして可視化することが難しかったのですが、今回は「シニア向け分譲マンションでの開催」「マンション常駐看護師との連携」「近隣の医療機関情報の提供」「電話での後日ヒアリング」を行うことにより、受診勧奨の成果を数値化して活動の効果測定を行うことが可能になりました。

また今回、公表したデータの他にも「骨粗鬆症についての認知度」「骨粗鬆症の正しい理解」「ロコモティブシンドロームとの関連」などのデータも得ることができました。

ご参加頂いた入居者の方に骨粗鬆症に関する知識を提供すると共に一部の方々ではあるものの、必要な医療機関へつなげることができました。しかし一方で「自覚症状がなく、生活では困っていない」「運動もしているし大丈夫だと思う」という理由で受診なさらない方もいらっしゃる、このような方々にどのようにアプローチすればよいのかという課題が浮き彫りになりました。

これらのアンケートや事後ヒアリングで得ることができたご参加者様のお声・参加後の行動などを分析し、早期発見・早期治療に結びつく効果の高い啓発活動や骨粗鬆症検診へアプローチ、医療機関との連携も強化しながら、対象となる方々が多く集まる場所での開催を目指していきたいと考えております。

また今回このモデルケースを骨粗鬆症だけではなく、他の疾患の啓発や受診勧奨にも活用し、健康的な社会づくりに貢献していきたいと考えております。

[メディア掲載・取材に関する問合せ先]
ケアプロ株式会社 予防医療事業部 広報担当
連絡先：y_info@carepro.co.jp

[会社概要] ケアプロ株式会社 <https://carepro.co.jp/>
住所：〒164-0011 東京都中野区中央3-13-10 JOY HAYASHI3階
理念：革新的なヘルスケアサービスをプロデュースし、健康的な社会づくりに貢献する
設立：2007年12月12日
代表取締役社長：川添 高志（かわぞえ たかし）〔看護師・保健師〕